

広東省週報

1月29日～2月4日

(1) 省党常務委員会において習近平の政法工作に対する重要指示及び中央政法工作会議の伝達・学習

●27日、李希・省党書記の主宰で、省党常務委員会が会議を開催し、習近平総書記の政法工作に対する重要指示及び中央政法工作会議、全国犯罪組織取締闘争テレビ電話会議の精神、全国個人労働者第5回代表大会への習近平総書記の祝辞の精神を伝達・学習し、広東省における貫徹・実行について検討した（1月29日付け『南方日報』）。

(2) 省紀律検査委員会第2回全体会議において二中全会における重要講話の精神を伝達・学習

●29日、広東省・習近平「新時代の中国の特色ある社会主義」思想研究センターが設立座談会を開催。慎海雄・省党常務委員・宣伝部長が座談会に出席し、センターの除幕を行った。国防大学中国特設社会主義理論体系研究センター、『人民日報』、『求是』等中央主要メディア理論部門の責任者、センター学術委員会委員、全省の高等教育機関マルクス主義学院院長、省重点シンクタンク及び省重点メディアの責任者等130名が座談会に参加（1月30日付け『南方日報』）。

(3) 馬興瑞・省長がマクニール加ノバスコシア州首相と会見

●30日、馬興瑞・省長がマクニール加ノバスコシア州首相と会見。馬省長は、広東省が海洋産業の発展に力を入れ、省内各地域の空港拡張建設を推進していることを紹介した上で、海洋資源が豊富なノバスコシア州は広東省と産業の補完性があることから、科学技術、金融、観光、留学生教育、経済・貿易投資等の分野で更なる協力を希望すると述べた。マクニール首相は、両省・州は貿易、観光、教育、海洋産業等で協力関係にあり、直行便の就航を実現し、更なる人的往来や加への投資を呼び込むことを希望すると述べた。（1月31日付け『南方日報』）

(4) 広東省人代の閉幕及び省人代・省政府主要指導者の選出

●31日、第13期省人代第1回会議が閉幕。会議では選挙が行われ、省第13期全国人大代表162名のほか、李玉妹が省第13期人代常務委員会主任に、馬興瑞が省長に、徐少華、黄業斌、羅娟、呂業昇、王衍詩、王学成が省第13期人代副主任に、王波が省人代秘書長に、林少春、許瑞生、李春生、黄寧生、葉貞琴、陳良賢、歐陽衛民、余艷紅が副省長に、施克輝が省監察委員会主任に選出された（2月1日付け『南方日報』）。

(5) 第12期省党委員会外事工作指導グループ第1回会議の開催

●31日、第12期省党委員会外事工作指導グループ第一回会議が開催され、習近平「新時代の中国の特色ある社会主義」思想及び第19回党大会の精神を学習・貫徹、習近平総書記の広東省の活動に対する重要指示の精神を貫徹・実行するとともに、2017年の広東省の対外活動を総括し、本年の対外活動について検討した。李希・省党書記・省党委員会外事工作指導グループ長が会議を主宰し、講話を行った（2月1日付け『南方日報』）。

(6) 広東省監察委員会が発足

●1日、広東省監察委員会設立大会が行われ、同委員会が正式に発足。これにより、広東省の省・市・県の三つの行政レベルにおける監察委員会の組織化任務が予定通り達成された。李希・省党書記が会議に出席し、講話を行い、施克輝・省監察委員会主任が会議を主宰した（2月2日付け『南方日報』）。

(7) 李希・省党書記が盧英敏・在中国韓国大使と会見

●1日、李希・省党書記が盧英敏・在中国韓国大使と会見。李書記は、広東省と韓国が経済交流を強化し、多くの分野で協力の効果を上げていると述べ、両地が投資、貿易、文化、観光等の分野の交流・協力を一層深めるとともに、中韓（惠州）産業パーク等の重要な協力プロジェクトを推進し、中韓の友好に貢献していきたいと述べた。盧大使は、韓国は広東との交流・協力を重視しており、両地の企業が電子情報、精密機器、バイオ技術等におけるマッチング協力を強化し、協力の分野を一層開拓するよう促進していきたいと述べた（2月3日付け『南方日報』）。

(了)